

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	塩津地区	回数	第3回
日時	平成29年10月29日(日)	午後1時30分～午後3時30分	
会場	塩津公民館 講義室	参加者数	23名

1. 各案に対する意見

■全案共通

駅の北側だけで施設配置が考えられているので、南側の住民のアクセスの公平性に配慮が必要だ。そのために塩津地区内だけではなく、地区を越えた複合、集約も考えてはどうか。

- ・ 駅の北側だけで施設の配置を考えているが、駅の南側の地域の人たちのアクセス、距離的な公平性も考えるべき。
- ・ 他地区に新しい施設を作った方が距離的に公平になる可能性もあるので、必ずしも塩津地区の中だけで考えるのではなく、地区を超えた集約も考慮してはどうか。

小学校が中学校に移設されると通学が不便になり、安全面からも問題が出てくる。避難所の分散化の観点からも小学校と中学校は分かれている方がよい。

- ・ 小学校は、現在は塩津地区の中心に位置しているが、中学校に移設されると通学に不便な子どもがでてくる。通学時間が長くなるので安全面からも問題となる。学校は災害時の避難所となるため、小、中学校が分かれている方が避難所も分散されて良い。

いずれの案でも、機能を果たすのに十分なグラウンド、体育館、駐車場の面積が確保できるかが課題になる。

- ・ いずれの案でも、機能を果たすのに十分なグラウンド、体育館、駐車場の面積が確保できるかが課題になる。

築年数だけで存続や移転を決めるのではなく、防災の視点からも考えるべき。例えば鹿島こども園は津波が来たときに被災する恐れがあるのではないか。

- ・ 築年数だけで存続や移転を決めるのではなく、防災の視点からも考えるべき。例えば鹿島こども園は位置的に津波が来たときに被災する恐れがある。

どの案であれ2つの保育園を集約することでサービスの充実が期待できるので賛成だ。

- ・ どの案であれ2つの保育園を集約することは、サービスの充実が期待されるので賛成だ。

地区内の2カ所にグラウンドが必要だと思う。避難時に十分な駐車場スペースが確保でき、片方がイベントで使用していても、もう片方で部活動ができるなど利用の際の融通がきくようになる。

- ・ 防災の観点と利用の際の融通が利くという点から、2か所にグラウンドが必要だと思う。現在の小学校と中学校のグラウンドは確保したい。2か所にグラウンドがあれば、災害時の避難の際に駐車場などに使えるスペースになるし、片方が運動会などのイベントに使用していた場合でも、もう片方で部活動ができる。

複合化、集約化によって跡地が発生する場合には、その跡地の利用プランを想定した上で施設配置を計画する必要があるのではないか。

- ・ 複合化、集約化によって跡地が発生する場合には、その跡地の利用プランを想定した上で計画をする必要があるのではないか。

■ A案

<期待>

保育園、小学校、中学校、公民館が複合化されることで、多世代の交流が促進されるのが良い。

- ・ 多世代の交流が促進されるので良い。

保育園、小学校、中学校が一体となって整備されるのは、子ども達の教育面や生活面に良い効果があるのに加え、送迎の負担や登下校時の不安が軽減されるので、保護者にとっても良いと思う。

- ・ 保育園、小学校、中学校が一体となって整備されるのは、子ども達の教育面や生活面に良い効果があると思う。
- ・ 小学校と中学校の統合は良い。環境が変化することで中学校進学を機に不登校になってしまう子もいる。同じ環境で学べることは良いと思う。
- ・ 保育園と小学校が一緒にある方が、保護者の送り迎えが楽になり、負担が軽減されるので良い。
- ・ 小学校と中学校が一緒になると部活帰りの下校が一緒にできるなど、親も安心できる。

児童館は、主に乳幼児から中学生までが使っており、プレイルームで異年齢の子どもが一緒になると危険な場面もあるので、児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。

- ・ 児童館から小学生の利用が減ることで、就学前の園児たちが安心して遊べるようになるのは良いことではないかと思う。
- ・ 実際には主に児童館は0歳児から中学生までが使っている。部屋別に利用者が分かれているが、プレイルームでは一緒に遊ぶので、危険な場面があるとよく聞く。夕方は児

童クラブの子どもで満杯になる。このため児童館だけを使いたい人にとっては児童クラブと児童館は、別の方が良く、児童館は小学校の近くでなくてもいいと考える。小学生は自分で行ける。

分散投資して中途半端になるよりも、1カ所に集中して投資することができる方が良いものができると思う。

- ・ あちこちに投資するのでは中途半端になるので、投資するなら1カ所に集中した方が良い。

高台にある中学校に施設を複合化するのは災害を考慮するとよい。

- ・ 小学校周辺は土地が低い、中学校は高台にあるので、災害を考慮するとよい。

塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないか。

- ・ 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないか。

<懸念>

中学校に小学校、保育園、公民館の全てを複合すると、各施設に十分な機能を整備するには敷地面積が足りないのではないか。特に、小、中学校のグラウンドや体育館が狭くなって部活動に制約がかかったり、行事があるときに駐車場が確保できなくなることが心配だ。

- ・ 検証しているとは言うが、塩津中学校の敷地は山になっているので、本当に全ての施設が複合できるのか疑問だ。
- ・ 全てをここに複合すると、各施設に十分な機能を整備するには面積が足りないのではないか。
- ・ グラウンドのキャパシティが十分に確保できるのだろうか。
- ・ 勉強の場は確保できるので良いが、グラウンドは十分に確保できるのか。小学生、中学生のそれぞれで部活動に制限がかからないか。
- ・ 小学校、中学校のグラウンドや体育館が狭くなり、部活動ができなくなるのではないか。
- ・ 行事があるときに十分な駐車場が確保できるのか。小中合同の場合にはこれまでの倍の広さが必要になる。
- ・ 駐車場の確保が心配だ。中学校周辺の土地を購入して駐車場を確保してはどうか。

中学校に小学校が集約されると、鹿島・拾石地区の子ども達の通学が大変になる。小学生は自転車通学ができないし、特に低学年の子どものが心配だ。通学バスなど公共交通の整備が必要ではないか。

- ・ 中学校に小学校が集約されると、鹿島地区の子どもの通学が大変になる。特に自転車が使えない小学生のことが心配だ。
- ・ 趣旨は理解できる。小中一貫は良いとしても、また敷地の関係で小学校を中学校にしか移設できないとしても、鹿島、拾石の子ども達が小学校に通学するのが大変になるのではないか。小学生は自転車通学できない。鹿島駅近くの方は大変である。
- ・ 小学校が中学校に移ると中心部以外の人にとっては距離が遠くなり、小学校に通いにくくなる。
- ・ 慣れない重いランドセルを背負う小学校1年生に、30分以上歩かせるのはかわいそう。夏休み前後などは宿題等で荷物が増えるし、1年生は集団登校で高学年についていくことすら大変である。
- ・ 鹿島、拾石の子ども達の通学には、公共交通、くるりんバス、通学バスなど何らかの措置が必要となる。下校時は時間がバラバラになるため検討が必要である。

小学校の跡地が売却されてしまったら、避難所として使えなくなるのではないか。避難所となる拠点が中学校だけになってしまうのは心配だ。

- ・ 避難所となる拠点が中学校だけになってしまうのが心配だ。
- ・ 移設した施設の跡地を売った場合、避難所等はどうするのか。中学校のみが避難所になると、全ての地区住民が中学校に行かなくてはいけない。
- ・ 小学校の跡地が売却されてしまったら、避難所として使えなくなるのではないかと心配だ。避難所になる建物を残してほしい。

保育園、小学校、中学校が一緒になると、保育園の園庭やプールが小、中学校とは別に確保できるのか、小、中学校で1つのグラウンドを使うと授業や部活動で支障が起きないか、2つのグラウンドを整備するとしたらスペースが取れるのかなどの懸念が出てくる。子ども達の安全が確保され、不自由が生じないような棲み分けが必要だろう。

- ・ 小中一貫校の場合、グラウンドは1つになるのか。小中学校の部活動は一緒に行うのか。活動中は小学校低学年や児童クラブの子どもは使用を遠慮するのではないか。グラウンドを広げるか2つにするなら良いが、その場合に小学校、中学校に十分なスペースはあるのか。具体的にどこに整備できるスペースがあるのか。スペース的に全て入るのか。運動会、体育大会などの開催も難しさが生じるのではないか。体育館の使用も制限される。体育の時間が小、中学校で同じ時間帯にならないか。プールも小中学校では深さが違うのではないか。
- ・ 保育園の園庭は小、中学校のグラウンドとは別で作るのか。保育園のプールが小、中学校のプールと同じ場所の場合、保育園児はそこへの移動も大変である。
- ・ グラウンドやプールなど、子どもの安全が確保され、不自由が生じないように小学校と中学校とで棲み分ける必要があるだろう。
- ・ それぞれの施設で入り口を分けるなど、安全の確保のために敷地内でのある程度の棲

み分けが必要だろう。

小学校と中学校が一緒になると、小学生が中学生を怖がったり、中学生による小学生へのいじめが発生しないか心配だ。保育園から中学までずっと同じ場所で過ごすのはつまらないと感じる子もいるかもしれない。

- ・ 小学校と中学校が一緒になることには不安がある。小学生が中学生を怖がったり、中学生が小学生をいじめるようなことが生じないか。行事を一緒に行うことのメリットやデメリットについても考えてみるのが良いと思う。
- ・ 保育園から小学校、中学校までずっと同じ場所だとつまらないのではないか。

小学校が中学校に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないか。児童館のあり方や利用の仕方が変わり、小学校との連携がしづらくなるがそれでよいのか。

- ・ 小学校が中学校に移転すると、小学生の児童館の利用率が下がるのではないか。
- ・ 自分が子どもの頃は、小学校低学年の子ども達が放課後に小学校から児童館に流れて行くことができた。こういった施設間連携の面から小学校と児童館は近くにあっていいと考える。離れると児童館の利用率はどうか。
- ・ 児童館と小学校が離れてしまうことで、児童館のあり方や利用方法が変わっていくのではないか。小学生の利用が減ると思うが、それで良いのか。

公民館が駅から遠くなるので、車の運転ができない高齢者にとって公民館が使いにくくなるのが心配だ。

- ・ 高齢者の中には車の運転ができない人もいるので、公民館は駅から近い方が良い。高齢者にとって公民館が使いにくくなるのではないか。

塩津小学校のように地区の中心にあり、利便性が高い場所が空くのであれば、跡地利用を考えた上で計画する必要があるのではないか。

- ・ 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い。そういう良い立地の場所が空くのであれば、跡地利用を考えた上で計画する必要があるのではないか。

■ B案

<期待>

保育園と公民館が移動するだけなので現状が一番近く、利用者の負担が低く抑えられそうだ。

- ・ 保育園と公民館が移動するだけなので現状が一番近い案だと思われる。利用者の負担が低く抑えられそうだ。

中学校と保育園、小学校と公民館の組合せなので、利用の際に用途がかぶってバッティングが起こることがなく、それぞれの施設に十分なスペースも取れそうで現実的な案だと思う。

- ・ それぞれの施設に十分なスペースが取れそうで現実的な案だと思う。
- ・ 中学校と保育園、小学校と公民館の組合せなので、利用する際にバッティングが起こらない点が良い。

小学校周辺は区内で一番アクセスが良いので、公民館で日常的に活動をするならば、利便性が高い。

- ・ 小学校周辺は区内で一番アクセスが良いので、公民館で日常的に活動をするならば利便性が高い。

小学校と公民館を複合化すれば地区の人の顔が見えるので、小学校のセキュリティを確保した上で一体的にするのは良いと思う。

- ・ 現状でも小学校と公民館は近接していて、一体的になっているのが良い。小学校と公民館を複合化すれば地区の人の顔が見えるので、小学校のセキュリティが確保された上で一体的にするのは良いと思う。

<懸念>

中学校と保育園が一緒になると、保育園の送迎と中学生の登下校が重なった時に、車と生徒が錯綜して危険ではないか。安全性の確保のために、出入り口や通学路などに工夫が必要だ。

- ・ 中学校と保育園が一緒になると、保育園の送迎と中学生の登下校が重なった時に、車と生徒が錯綜して危険ではないか。
- ・ 保育園の送迎と中学生の登下校を安全に行うために、建物のつくりや動線を工夫すれば良い。
- ・ 朝 7 時や 7 時半からの早朝保育の送迎と中学生の朝の部活動との重なりも危ない。お母さん達は急いでいるので車を飛ばす可能性がある。出入り口や通学路等を工夫しないとイケない。
- ・ 安全性の面から中学校と保育園の出入り口は分ける等の配慮が必要だ。

保育園が集約されて中学校に複合されると、十分な駐車スペースが取れなくて保育園の保護者が困らないか。保育園だけでなく各施設に十分な駐車場があった方が良い。

- ・ 中学校に保育園が併設される場合、送迎の車はどこに止めることになるのか。十分な駐車スペースが取れず、保育園の保護者が困らないか。
- ・ 駐車場の確保が可能か。各施設に十分な駐車場があった方が良い。

高台にある中学校敷地に保育園が移ると送迎が不便になる。特に自転車や徒歩の人が大変だろう。

- ・ 中学校へ保育園児をお迎えに行く時に自転車や徒歩の人もいる。心臓破りの坂があるのに大丈夫か。
- ・ 中学校は丘の上にあり、歩くのはきついので保育園がここにできると送り迎えが不便になる。

万が一中学校が荒れるようなことになったら、園児に危険が及ばないか心配だ。

- ・ 中学校が万が一荒れるようなことになったら、園児に危険が及ばないか。

■ C案

〈期待〉

小学校と中学校が一緒になれば、学習面や生活面での連携ができることによる様々な効果が期待できると思う。親にとっても部活帰りの下校が一緒にできるので安全性が高まるなどのメリットがある。

- ・ 小学校と中学校が一緒になれば、学習面や生活面での連携ができるので、授業の進行の調整ができる、不安なく中学に進学できる、団結心が生まれる、上級生へのあこがれが良い影響を生むなどの効果が期待できるのではないか。
- ・ 小学校と中学校の統合は良い。環境が変化することで中学校進学を機に不登校になってしまう子もいる。同じ環境で学べることは良いと思う。
- ・ 小学校と中学校が一緒になると部活帰りの下校が一緒に出来るなど、親も安心できる。

中学校敷地に多くのものを入れ込みすぎているので各施設のスペースに余裕があり、地区に2つの拠点ができる点が良い。

- ・ A案と比較して中学校敷地に多くのものを入れ込みすぎているので、スペースの余裕もあるのではないか。
- ・ 機能の近い施設をまとめるが、まとめすぎずに各施設の機能が果たせるスペースは確保しているし、地区に2つの拠点があるという点で、これまでのグループでの議論を一番反映していると思う。

保育園と公民館が複合することで現状の高齢者と園児との交流が更に促進され、双方にとって良い効果が生まれると思う。

- ・ 保育園と公民館の集約化、複合化は、今でも園児がおじいちゃん、おばあちゃんに遊んでもらったり、発表を見てもらったりしているので良いと思う。お手玉など昔の遊びを覚えてもらったり、布草履の作り方を教えてもらい一緒に作成したりする。近所の高齢者施設との交流、触れ合いはずっと行っている。同じ場所があれば、もっと触れ合うことができる。これは園児にとっても、癒されると言っていたので高齢者にとって

もいいのではないか。

高台にある中学校とは異なり、歩きやすくアクセスが良い小学校の立地に保育園を複合するのは良い。

- ・ 高台の中学校とは異なり、小学校までは歩きやすくアクセスが良いので保育園を小学校の場所に複合することは賛成だ。

日常的に利用する公民館が現在の場所に残るのは、アクセスの点から考えて良い。

- ・ 日常的に利用する公民館が現在の場所にあるのはアクセスの点から良い。

児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。

- ・ 児童館から小学生の利用が減ることで、就学前の園児たちが安心して遊べるようになるのは良いことではないかと思う。

<懸念>

小学校と中学校が集約されると、体育館やグラウンドの広さが十分に確保できるのか心配だ。

- ・ 小学校と中学校が集約されると、体育館やグラウンドが十分確保できるのかが気になる。

中学校に小学校が集約されると、小学生は自転車通学ができないので鹿島地区の子ども達の通学が大変になる。

- ・ 中学校に小学校が集約されると、鹿島地区の子ども達の通学が大変になる。特に自転車が使えない小学生のことが心配だ。
- ・ A案と同じく小学生の通学が大変になる問題がある。

現在の小学校の敷地に保育園と公民館だけを建てるのでは土地が余るのではないか。部活や住民のイベント用のグラウンドを作るなど、空いた土地の利用方法について検討が必要だ。

- ・ 現在の小学校の敷地に、保育園と公民館だけでは広すぎる。残りの土地の利用方法について検討が必要だ。
- ・ 小学校の敷地が余った分はそのまま残し、住民がイベントなどで利用できるグラウンド、部活動用の第二グラウンドとして利用していくのが良い。

小学校と中学校が一緒になると、小学生が中学生を怖がったり、中学生による小学生へのいじめが発生しないか心配だ。

- ・ 小学校と中学校が一緒になることには不安がある。小学生が中学生を怖がったり、中

生が小学生をいじめるようなことが生じないか。行事を一緒に行うことのメリットやデメリットについても考えてみるのが良いと思う。

小学校跡地での保育園の集約は場所的に問題が少なく、小、中学校でクラスメイトになる子ども達が小さい頃から交流できる点は良いが、車を利用していない保護者の送迎の問題が出てくる。

- ・ 塩津北保育園の塩津保育園への集約は、以前もそうであったことを考えると、場所的には大丈夫ではないか。ただ、自転車では行けるが、塩津北保育園に徒歩で通っている保護者で、特に柏原地区の方々が困りそうだ。小さい子どもがいてベビーカーを使用する場合に時間がかかる。しかし、まだ徒歩で行ける距離ではある。
- ・ 私達の頃は幼稚園も小学校も中学校もクラスメイトはみんな同じだった。保育園が一緒になると小さい頃から交流が生まれるのは良いと思ったが、送迎の問題は出てくる。
- ・ 保育園を集約したり、幼稚園も併せてこども園化したりすると車移動の方は良いが、車に乗れない方は移動が大変になる。ベビーカーに乗せられない時期の2人目、3人目の小さい子どもがいる場合もある。通園バスなどを出してもらえば良いかもしれない。

公民館の近くに学校の体育館がなくなってしまうと、実施できるイベントが限られてしまう。小、中いずれかの体育館が公民館から近距離にあるのが望ましい。

- ・ 現状では小学校の体育館で公民館の行事を行っていることもある。公民館の近くに学校の体育館がなくなってしまうと、実施できるイベントが限られてしまうので、小学校か中学校のいずれかの体育館が近距離にあるのが望ましい。

小学校が中学校に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないか。児童館のあり方や利用の仕方が変わり、小学校との連携がしづらくなるがそれで良いのか。

- ・ 児童館と小学校が離れてしまうことで、児童館のあり方や利用方法が変わっていくのではないか。小学生の利用が減ると思うが、それで良いのか。

■ D案

<期待>

これまで利用してきた拠点施設が現状の場所に残っており、昔からの生活圏があまり変わらないのが良い。小、中学校も分かれたまま今の場所に残るので、通学や避難所の問題が発生しない。

- ・ これまでの利用してきた拠点施設が現状の場所に残っており、昔からの生活圏があまり変わらないのが良い。
- ・ 小、中学校が分かれているので、通学や避難所等の問題が解決される。
- ・ 小学校を残して、公民館、保育園を複合化すれば小学生の通学の問題もなくなるので良

いのではないか。

保育園を小学校に複合すれば、行事を一緒にできるので盛り上がるし、世代間交流もできる。両方に子どもを通わせている親にとっては送迎の利便性が上がり、保育園の送迎時に小学生の子どもの様子を見ることもできる。保育園を中学校に集約するよりもメリットがあるのではないか。

- ・ 保育園と小学校とが複合され、行事を一緒にできれば盛り上がるし、両方に子どもを通わせる保護者にとっては利便性が上がる。
- ・ 保育園と小学校が一緒にある方が、保護者の送り迎えが楽になり、負担が軽減されるので良い。
- ・ 保育園を小学校に集約すると、園児と小学生の両方の子供がいる親にとって、同時に送り迎えできるので便利だ。保育園をどこかに移すなら、中学校ではなく小学校にすべき。
- ・ 保育園の母達の間では、保育園と小学校が近いと安心という意見がある。保育園の送迎の際に、小学校の上の子が活動しているところが見られるところが良い。
- ・ 保育園を小学校に複合すると子供の世代間交流ができる。

公民館と幼児の施設が一緒にあると、高齢者と幼児の交流が生まれて双方にメリットがあると思う。

- ・ 保育園、公民館が複合化されるのは良い。
- ・ これまでの議論で出てきているように、公民館と幼児の施設が一緒にあると、高齢者と幼児双方にとってメリットがある。幼稚園と保育園を一緒にする子ども園化は難しいとしても、保育園と公民館は複合化した方がよいかもかもしれない。

<懸念>

現状でも駐車スペースが足りないのに、小学校、保育園、公民館を複合した場合に十分な広さの駐車場が確保できるのか心配だ。

- ・ 現状でも駐車場のスペースが厳しいが、小学校、保育園、公民館を1つにした場合に、十分な駐車場を確保することができるだろうか。

中学校を改築して規模が縮小されても、市街地調整区域なので余剰の土地の売却や土地の活用が難しく、有効に活用できないのはもったいない。

- ・ 中学校を改築し規模が縮小されたとしても、市街地調整区域なので土地の活用が難しい。市の財政の足しにはならない。
- ・ 中学校の土地を売却したりして活用ができないのであれば、小学校を移転した方が有効に使える。

〈提案〉

小学校に複合施設を作ると各機能のスペースが足りないのならば、交渉して農協の土地を購入し、スペースを確保したら良いのではないか。農協の土地なら児童館ともつながる。

- ・ 小学校に複合施設を作ると各機能のスペースが足りないということであれば、農協の土地を売ってもらいスペースを確保してはどうか。農協の土地であれば児童館ともつながる。一軒家が建っている所以交渉は必要である。

施設の改善の前に保育園の利用者を増やすための施策の変更をする必要があるのではないか。

- ・ 保育園は狭くて老朽化しているので、あけぼの幼稚園に行くとされるが、改善されれば塩津保育園にいくようになるのか。利用者が減るから施設を集約することになるのだが、法律の問題や市自らが利用しにくい施策を行っている可能性はないか。そうであれば、利用者を増やすには法律や施策を変える必要があるのではないか。

条件が満たせず保育園に入れなかったために遠方の幼稚園に行かざるを得ない子どももいる。保育園を集約する際には、保育園と幼稚園の制度の壁をクリアして、預かれるようになると良い。例えば、2つの保育園と幼稚園を集約してこども園をつくるのはどうか。それが無理ならせめて延長保育、2歳児預かりだけでもしてほしい。

- ・ 保育園は仕事や病気で親が保育をできないから預ける。鹿島はこども園だが、保育園同様に就労証明がないと入れない。働いていない親は幼稚園に入れるしかない。だからあけぼの幼稚園に入れるしかなく、あけぼの幼稚園がいっぱいになる。
- ・ 鹿島こども園は未満児から入れるが、私の頃は兄弟がいる子どもが入りやすかった。上の年齢になると既に定員が一杯となり、5名程度しか入れない状態となっていた。入れないからあけぼの幼稚園に預けることになっていた。
- ・ 2つの保育園と幼稚園を集約してこども園をつくるというのはどうか。せめて延長保育をしてほしい。
→ 蒲郡市は公立の幼稚園を持っていないが、制度上は可能である。岡崎には市が運営している幼稚園がある。(市からの回答)
- ・ 保育園を集約して大規模化する時には、遠方の幼稚園にしか行けないこどもも預かれるように、保育園と幼稚園の制度の壁などを上手くクリアし、集約化のメリットを出していけると良い。役所に何を相談してもいつも「できない」と言われるとつらい。何とか問題を解決する方向で考えていただくと助かる。保育園では、調理室が今の倍の広さがないとできないらしいが、せめて延長保育、2歳児預かりだけでもやってほしい。

■ E案

<期待>

小学校と中学校が集約されると、進学時の環境の変化がなくなるので不登校の防止になる。部活後に小学生と中学生と一緒に下校できれば親も安心だ。

- ・ 小学校と中学校の統合は良い。環境が変化することで中学校進学を機に不登校になってしまう子もいる。同じ環境で学べることは良いと思う。
- ・ 小学校と中学校が一緒になると部活帰りの下校が一緒に出来るなど、親も安心できる。

災害時の避難拠点を分散させるという点で、塩津北保育園を残すのは良い。塩津保育園は園庭裏の崖が危険だ。

- ・ 災害時の拠点を分散させるという点では、塩津北保育園を残すというのは良い。塩津保育園は園庭裏の崖が危険だ。

児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。

- ・ 児童館から小学生の利用が減ることで、就学前の園児たちが安心して遊べるようになるのは良いことではないかと思う。

塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないか。

- ・ 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないか。

<懸念>

小学校も保育園も移転し、施設が地区の北部に偏りすぎているので、南部の住民が利用しにくい。

- ・ 施設が地区の北部の方に偏りすぎているので、南部の住民にとって利用しにくい。
- ・ 小学校も保育園も北に行くのはデメリットが大きい。鹿島の保護者の多くはあけぼの幼稚園を利用しているが、拾石では塩津保育園を利用している人が多いので遠くなる。
- ・ 保育園が地区の北側になるため、特に南側の住民にとっては、更に遠くなってしまう。

小学校と中学校が一緒になると、小学生が中学生を怖がったり、中学生による小学生へのいじめが発生しないか心配だ。

- ・ 小学校と中学校が一緒になることには不安がある。小学生が中学生を怖がったり、中学生が小学生をいじめるようなことが生じないか。行事を一緒に行うことのメリットやデメリットについても考えてみるのが良いと思う。

塩津北保育園は駐車場を確保しづらいことや交通量の多い道路に面しており危険性が高いことに問題がある。

- ・ 塩津北保育園は、アクセスが悪く駐車場スペースも取りにくい上に、交通量の多い道路に面しているため危険性も高い。

現状では小学校の体育館で公民館の行事を行っていることもあり、公民館の近くに学校の体育館がなくなると実施できるイベントが限られてしまう。公民館の周辺に他の施設がないと、ますます利用率が下がるのではないかと。

- ・ 同じ用途の施設を集約すると言っているが、公民館だけが他の施設と離れて浮いてしまった印象がある。
- ・ 公民館の周辺に他の施設がなく、単独になってしまうとますます利用率が下がるのではないかと。
- ・ 現状では小学校の体育館で公民館の行事を行っていることもある。公民館の近くに学校の体育館がなくなってしまうと、実施できるイベントが限られてしまうので、小学校か中学校のいずれかの体育館が近距離にあるのが望ましい。

小学校が中学校敷地に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないかと。児童館のあり方や利用の仕方が変わり、小学校との連携がしづらくなるがそれでよいのか。

- ・ 児童館と小学校が離れてしまうことで、児童館のあり方や利用方法が変わっていくのではないかと。小学生の利用が減ると思うが、それで良いのか。

塩津小学校のように地区の中心にあり、利便性が高い場所が空くのであれば、跡地利用を考えた上で計画する必要があるのではないかと。

- ・ 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い。そういう良い立地の場所が空くのであれば、跡地利用を考えた上で計画する必要があるのではないかと。

■新たな案の提案

B案で中学校と保育園の複合に問題があるのであれば、B'案として保育園を塩津北保育園、もしくは小学校と中学校の間の土地に集約することも考えられる。ただし、塩津北保育園に集約する場合は、駐車場が足りなくなる懸念がある。

- ・ 保育園を小中学校の間に集約することも考えられる。
- ・ 中学校と保育園の隣接に問題があるのであれば、B'案として、保育園を塩津北保育園、もしくは小中学校の間の土地に集約することも考えられる。
- ・ 現状の塩津保育園は駐車場が遠いので、雨の日には布団を持って子どもを抱えて坂を登るのがとてもつらい状況だが、塩津北保育園に集約するとなると駐車場が足りなくなるのではないかと。現在の駐車場に職員が車を止めると、保護者が止められるのは3、4台分しかないので農道に止めているが、それでも止められないと1周、2周と車を走ら

せて待っていることになる。これ以上園児が増えるとうなるのか。

D案をベースにして2つの保育園とあけぼの幼稚園を集約したこども園をつくる案を、D'案としてはどうか。

- ・ D'案として、D案をベースに2つの保育園と幼稚園を集約したこども園をつくる。

D案で小学校と保育園のスペースを十分確保するため、公民館は中学校に移してはどうか。高齢者と中学生の世代間交流もできて良い。

- ・ D案で小学校と保育園のスペースを十分確保するため、公民館は中学校に移した方が良いのではないかと。
- ・ D案で公民館は中学校に移した方が良い。高齢者と中学生の世代間交流ができる。中学生の世代間交流は、小学生のような子供とするよりも、自分達を見守ってくれる高齢者とする方が良い。

■検討の進め方

保育園、小学校、中学校の統合や小中一貫校化に関しては、イメージでメリットやデメリットを話すのではなく、先進事例を参考にしたり教育の専門家の意見を聞いた上で実現性や効果を検証する必要がある。

- ・ 小中一貫校や小学校と中学校が同じ敷地にあるということについて、イメージでメリットやデメリットを話すのではなく、先進事例を参考にしたり検討する必要があるのではないかと。周辺に事例はあるのだから既に調査もしていると思う。
- ・ 生徒の少ない地域では保育園、小学校、中学校の統合にメリットもあるが、生徒数の多い場所では統合に支障や課題は生じていないのだろうか。メリットとデメリットの両面があると思うので、先進事例などを学び、統合の実現性や効果の検証をしてみてもどうか。
- ・ 小中一貫校や小学校と中学校が同じ敷地にあることの教育的なデメリットがあるのか。教育のプロの意見も聞いて、慎重に考えた方が良いのではないかと。

専門家や現場の担当者、施設を利用している人などの意見を聞き、プラン作成や評価、最終的な絞り込みに反映する必要があると思う。

- ・ 塩津北と塩津保育園を集約することが全案共通となっているが、このワークショップに当事者である保護者がいないのが気になる。1カ所だけしか保育園がないというのなら、そこに預けるしかないと受け入れられるのかもしれないが、それがわからない。
- ・ 案を評価する際には、専門家、現場の方の声が反映されるようにした方が良い。
- ・ 案が絞り込めてから専門家や現場の声を聞いてはどうか。聞かないと手落ちとなる。

幅広い市民の声を踏まえてこのワークショップで議論すべきではないか。

- ・ この公共施設マネジメントについて、市民から市役所に質問はきているか。幅広い市民の声を踏まえてワークショップで議論すべきではないか。

■その他

<提案>

中学校への坂道は車が通過するにも狭く危険なので、道幅を広くしたり、登下校で別ルートにするなど、生徒の安全性を確保する策を検討してはどうか。

- ・ 中学校への坂道は車が通過するにも狭く危険だ。道幅を広くしたり、登下校で別ルートにするなど、生徒の安全性が確保できるような検討をしてはどうか。

住民の命を守るためには災害に備えることが大切なので、災害を想定して施設の設計をしてほしい。それが結果的にコストを抑えることにもつながると思う。

- ・ 災害に備えておくことで住民の命を守ることが出来るし、費用も抑えることができる。いずれの案にしても災害を想定して施設の設計をしてほしい。

ボートレース場を有効活用するという発想もあって良いのではないかと。避難所として利用する、保育園を複合化する、駐車場を日常的に使えるようにするなど。

- ・ ボートレース場の駐車場を日常的に使えるようにすることは可能か。避難所として利用することも検討してみてもどうか。
- ・ ボートレース場に保育園を入れる、というような柔軟な発想もあって良いのではないかと。

<質問>

- ・ 公共施設の方針が決まったとして、実際の建て替えはいつから始まるのか。
- ・ 建て替えはどのように行うのか。建て替えの期間中でも子ども達は十分に学習等ができるのか？
 - 老朽化が進んでいる施設は、全て建て替える。学校運営者と相談して時期や方法等を考える。(市からの回答)
- ・ 市としては学校の部活動をどう考えているのか。部活動の種類や数によってグラウンドや体育館がどれだけ必要かが違って来る。それによって、小学校と中学校を集約すべきかどうか判断が分かれる。
 - 今のところ部活動についての方針が決まっていないため答えられない。(市の回答)
- ・ 英語の授業を小学校と中学校で同じ先生たちがやると効率的という考え方もあり、それなら集約すべきという話にもなる。授業内容の検討も必要ではないか。
 - 今のところ小中連携や一貫教育についての方針が決まっていないため答えられない。(市の回答)

- ・ 同一の施設で保育園と幼稚園の2つを運営することはできるのか？
→ 保育園で行われている保育と幼稚園で行われている教育の両方の機能を持つのがこども園である。(市からの回答)
- ・ 中学生と保育園児の交流とはどのような交流だろうか。例えば、最近では中学生が合唱コンクールの後に保育園に来て歌ってくれたり、幼児と遊んでくれたりする。幼児も中学校に遊びに行くことがある。
- ・ 中学校と保育園を複合化する案は、ハードだけで一緒になることを考えたのか、交流や教育的効果を考えてのか。市の考え方を知りたい。
→ たしかに、小、中学生は年齢的に繋がっているので交流しやすい一方で、幼児と中学生は離れていて交流が生まれにくいことも考えられる。しかし、例えば、以前は宮祭りを通じて地区の人のことを知ることができたが、そういう機会も少なくなった。こうしたことを補うため、施設間の連携や交流により地域の方々の横の繋がりが生まれることを期待している。(市からの回答)
- ・ 小学校と公民館が複合化される場合、現在の小学校や公民館の建物はどうなるのか。
→ 一旦全て取り壊して建て替える。(市からの回答)

2. 8つの視点について

■各視点における評価内容

「子育てしやすい環境づくり」では、小学校、中学校で、グラウンド、プール、体育館等の教室以外での学びが十分にできるかが重要だ。

- ・ 小、中学校で教室以外のグラウンド、プール、体育館等での学びが十分にできるか。

「多世代が利用できる場の創出」では、高齢者だけでなく障がい者や地区に多く住んでいる外国人が、気軽に行ける場所が整備されるかが重要だ。

- ・ 公民館等でお年寄りの話はでたが、障がい者や外国人の方の話はでていない。塩津地区は外国人の方が多い。小学校でも子ども会があるが、外国人の方は言葉が通じなくて子ども会に入っていない。説明に行くが言葉が通じない。普段から気軽に行ける場所があるといい。

「アクセス性の配慮」では、小学生、特に低学年の子ども達が通学しやすいか、駐車場の確保が十分かを評価してほしい。駐車場は保護者だけでなく、集約によって数が増える先生の分も考える必要がある。

- ・ アクセスの面では、中学生は歩けるし、自転車で通うことができるので、小学生、とくに低学年の子ども達が通学しやすいかを評価してほしい。
- ・ 保育園の送迎時の駐車場確保ができていないか。集約されたら先生も増えるので、駐車場に止める車も増える。保護者の分だけでなくそのことも考慮に入れる必要がある。
- ・ 現在でも駐車場問題があるので、再配置により解消されるかどうか重要だ。アクセス

に不都合や不便が生じないようにしてほしい。アクセスの視点では、特に「駐車場の確保が十分か」を評価してほしい。

■新たな視点

保育園、小学校、中学校の建て替え時に、体育館やグラウンドが使えず文化祭や部活動が制限される等、子ども達の教育環境に影響が出るのは問題なので、「建て替え時等の移行期の子どもへの負担」という視点も加えたい。

- ・ 保育園、小学校、中学校を建て替える際には、子ども達の教育環境に配慮し、建て替えの順番や建て替え中の環境に配慮してほしい。体育館やグラウンドが使えず文化祭や部活動に制限があってはかわいそう。「建替時等の移行期の子どもへの負担」という視点も加えたい。